※以下は要約文となりますので、詳細は配信動画等をご覧ください。

【令和８年 10 月９日（金曜日）知事定例記者会見】

＜SAGA 茶祭 2026　－第 80 回全国お茶まつり佐賀大会－＞

全国茶品評会において、４年連続で四冠を達成。
蒸し製玉緑茶の部で白川さん、釜炒り茶の部で吉牟田さんが農林水産大臣賞を受賞。嬉野市が両部門で産地賞第１位を受賞した。

1191 年、栄西禅師が宋から茶の種を持ち帰り栽培し、製造方法を脊振の地に伝えた。これが日本茶栽培の始まりとされている。
1440 年頃、渡来した唐人が不動山皿屋谷（現在の嬉野市）で自家用のお茶を栽培したことが、うれしの茶の始まりとされる。佐賀県は、お茶との縁がある。
1730 年頃、売茶翁が煎茶文化を全国に広めた。売茶翁は、伊藤若冲が尊敬していたことでも知られている。

ミヤザキケンスケさんとのコラボによる個包装のお茶を贈る「Green letter project」を行っている。また、茶農家が天茶台でお茶をふるまうティーツーリズムも行っている。２～３万円のコースも盛況で、インバウンドの皆さんを含め人気がある。

27 年ぶりに全国お茶まつりを佐賀県で開催中。全国茶品評会と入札販売会は、終了した。式典は、11 月 21 日。茶祭イベントは、11 月 21 日、22 日に県立美術館・博物館前で実施する。「ジブリ展」の来場者にもうれしの茶に親しんでもらいたい。茶歌舞伎、SAGA 茶 BAR、足湯などが体験できる。栄西茶のバス視察やテントサウナ、スイーツも楽しめる。

10 月 21 日、佐賀バルーナーズ対長崎ヴェルカ戦で、うれしの茶の PR イベントを行う。先着 6,000 名にハッピーバッグをプレゼント。嬉野産の紅茶など、お茶にこだわった限定コラボメニューもある。会場をお茶色に染めたい。
新たなお茶の歴史を佐賀から。嬉野を盛り上げていきたい。

＜さがの中山間地域を守り、未来につないでいきます＞

佐賀県は中山間地域が多い。総農家数の約半分が、中山間地域で営農。この営農が、土砂災害や洪水から県民を守る機能にもつながっている。また、美しい農産物を生み出

し、多様で豊かな自然や生物を育むといった、景観も含めた素晴らしさがある。厳しい状況の中で農業に取り組む皆さんを支援したい。

中山間地域の農業と農村を守り、つなぐために、担い手の確保・育成を目的としたトレーニングファームを設置。６月には、住民による共助の推進として、農村 RMO「北山カンパニー」を設立した。今後、地域が一体となって、コミュニティ維持に取り組む地域が増えてくると考えられる。

農業の所得向上、スマート農業の展開、基盤整備や地域保全、有害鳥獣の被害防止対策も強化していきたい。

新しい取り組みとして、さが農業と企業・団体・大学とのマッチングサイトを開設。

中山間地域の農業者と関わりたい人、世の中のためになることをしたい人、大学のフィールドワークなどをマッチングする。活動例は保全活動や作業支援、イベントの共催。登録、マッチング、活動開始という流れ。

これまでに３件のマッチングが実現。地域団体と大学、自治体と建設業協会などが連携し、共同で作業を行っている。担い手不足で苦しい状況の中山間地域と支援者の連携を図っていきたい。

農村とみんながつながると、地域はもっと元気になる。

＜佐賀がもっと好きになる“さいこう”の２日間 佐賀さいこうフェス Vol.11＞

10 月 17～18 日、11 回目の「佐賀さいこうフェス」を開催する。来場者は年々増加。去年は約８万人に達した。

・ステージ：矢井田瞳さんが出演。
NHK の協力によりワンワン登場。世代を超えて人気がある。
・体験プログラム：ミヤザキケンスケさんによるプログラム。
・特別企画「石垣茶庭」：佐賀城北側広場で、お茶・コーヒーの出店やワークショップを実施。
・同時開催プログラム：「タイフェス」「森川海人っフェス！」「韓国フェスタ」「SAGAn BEAUTY WEEKEND」「笑顔 de さいこうマルシェ」

＜金曜ロードショーとジブリ展がいよいよ開幕！＞

11 月３日～来年２月 14 日、県立美術館・博物館で「金曜ロードショーとジブリ展」を初開催。王蟲（オーム）も登場。土日祝日は、予約での日時指定制。金土祝前日は、20 時まで開館する。

県の「歩くライフスタイル」とコラボしており、公共交通と徒歩での来場を推奨している。佐賀駅や駅前周辺もフラッグなどで装飾する。バス車内では、ナウシカ役の声優島本須美さんの特別アナウンスを聞ける。ＪＲ・バスでの来場者に、クリアファイルをプレゼント。デジタルスタンプラリー、まち歩きマップもある。また、ジブリ展とのコラボで割引サービスを実施する店舗もある。街中でジブリ展を楽しんでいただきたい。

＜九州最大オープンファクトリーイベント 佐賀つくるまちの開放日＞

ふだんは入ることができない伝統工芸の工場・工房を開放するイベント。今年で３年目。1 年目の参加は８事業者、２年目が 14 事業者、今年は 40 事業者に増加。窯業関係事業者が新たに加わり、盛り上がってきている。

トークセッションや、佐賀県の伝統工芸を体験するワークショップも開催。４～５万円のハイクラスな体験プログラムもある。ぜひ公式ホームページで確認し、体験に参加してほしい。佐賀の伝統工芸との新しい出会いと発見をお楽しみいただきたい。

＜（告知）ツール・ド・九州 2026 佐賀・福岡ステージ 明日開催＞

10 月 10 日、「ツール・ド・九州」が佐賀で初開催となる。９時からチーム紹介、10 時にレースがスタート。「PLA PLA」を出発し、菖蒲峠とルート・グランブルーを２周半し、唐津市街地へ向かう。北城内交差点では、塗り替えられた米屋町の「酒呑童子と源頼光の兜」の曳山を見ることができる。

「PLA PLA」から福岡の天神までという、世界に冠たる 150㎞のコースができた。ぜひ皆さんに楽しんでもらいたい。観戦ポイントの唐津市役所前に様々な出店を用意。グッズの配布もある予定。